

新卒採用（2014年4月入社対象）に関するアンケート 調査結果の概要

2014年9月29日
一般社団法人 日本経済団体連合会

1. 調査要領

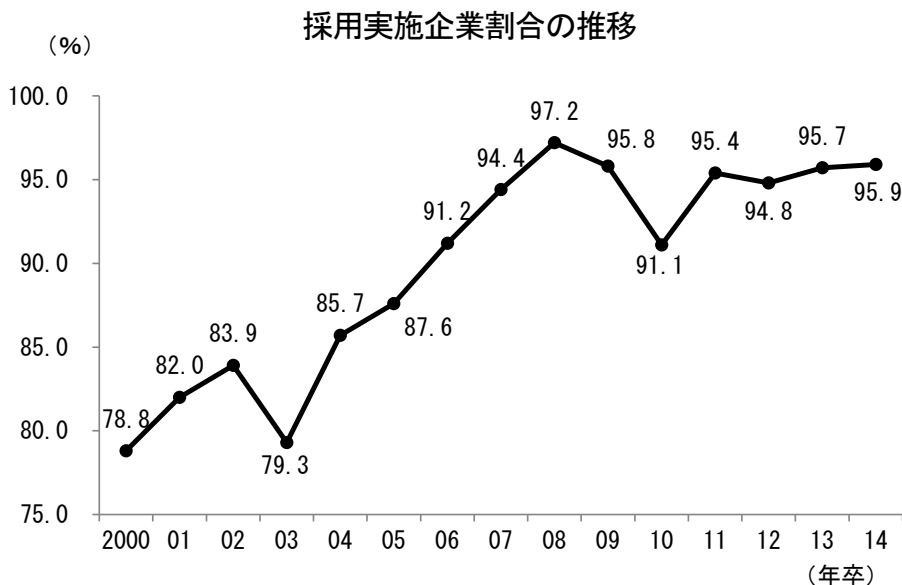
- (1) 調査目的：企業の大卒等新卒者の採用選考活動を総括することを目的に、1997年度より実施
- (2) 調査対象：（一社）日本経済団体連合会企業会員のうち1,310社を対象
- (3) 調査形式：無記名式アンケート（業種・企業規模のみ記入）
- (4) 実施時期：2014年7月
- (5) 回答状況：660社（回答率50.4%）
 - *製造業44.8%、非製造業54.4%、不明0.8%
 - *従業員数1,000人以上72.1%、500人以上～1,000人未満13.8%
500人未満12.9%、不明1.2%

2. 調査結果の概要

(1) 採用実施企業割合は2年連続増加

2014年4月入社の採用選考活動を実施した企業割合は95.9%と前回調査より0.2ポイント増え、2年連続で増加した。

また、前年（2013年4月入社）の採用人数に対し、「増加した」とする回答が44.4%となったのに対し、「減少した」29.1%、「変わらなかった」25.1%となった。採用人数増加の理由としては、「業績の回復、事業拡大」が49.5%で最も多かった。



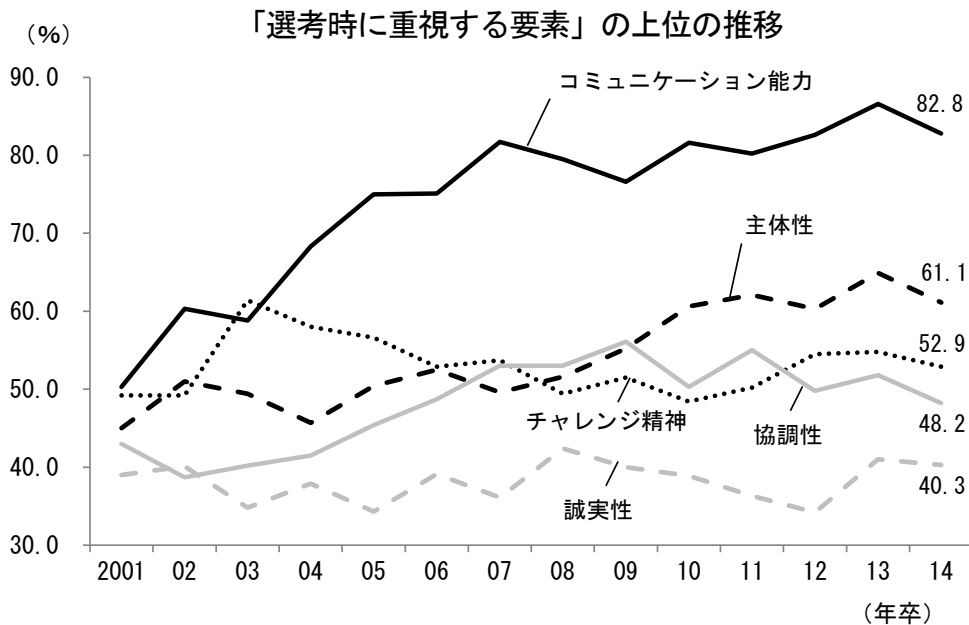
(2) 「売り手市場（学生側が有利）であった」という傾向が強まる

就職採用市場に関する評価についての設問では、51.5%が「売り手市場（学生側が有利）であった」と回答し、前回調査と比べて23.5ポイントの大幅増となった。

一方、「変わらなかった」とする回答が、前回調査に比べて大幅に減少（▲20.5ポイント）して44.6%となるとともに、「買い手市場（企業側が有利）であった」とする回答も前回調査よりも減少して、2.8%となった。

(3) 採用選考時に重視する要素は11年連続で「コミュニケーション能力」が第1位
 企業が選考にあたって重視した点を25項目から5つ回答する設問では、「コミュニケーション能力」が11年連続で第1位となった。「主体性」、「チャレンジ精神」、「協調性」、「誠実性」の順に続き、上位5項目には変化がなかった。

また、選考にあたって、学業成績をどの程度重視しているかの設問については、51.7%が「かなり重視している」または「やや重視している」と回答した。



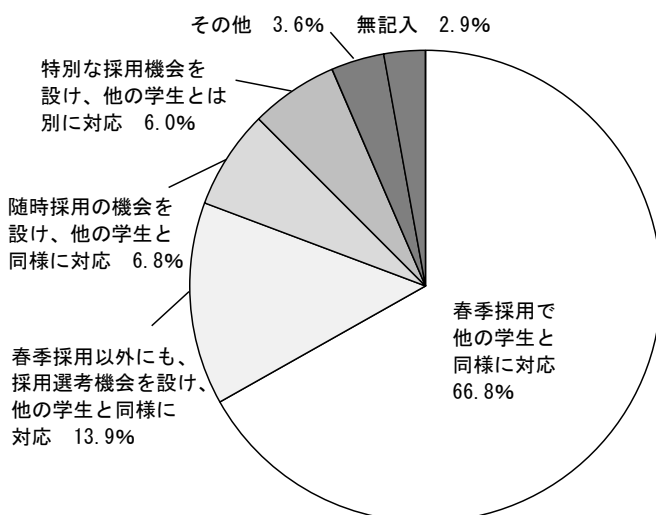
(4) 留学生等への対応状況

国内大学在学中の海外留学経験者の採用については、26.7%が「春季一括採用以外に採用選考機会を設けている」と回答した。新卒採用者全体に占める海外留学経験者の比率は、27.0%が「10%以上」と回答し、前回調査より8.9ポイント増えた。

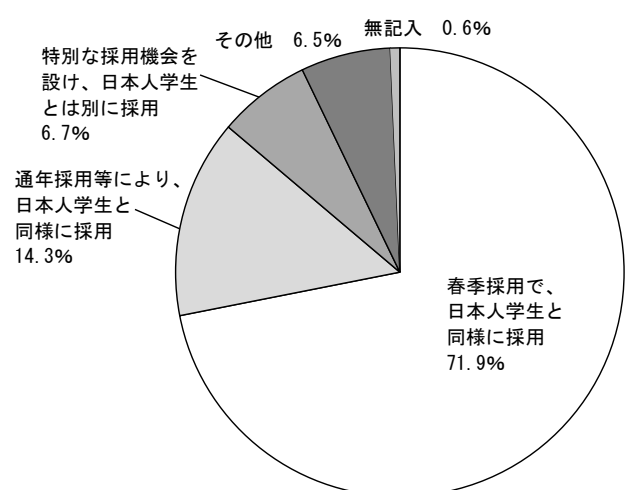
また、外国人留学生の採用について、採用を行っている企業のうち71.9%が「春季一括採用により、日本人学生と同様に採用している」と回答した。

さらに、海外の大学・大学院に在籍している学生について、60.2%が「既に採用している」または「今後は採用を予定している」と回答した。

海外留学経験者への対応



外国人留学生への対応



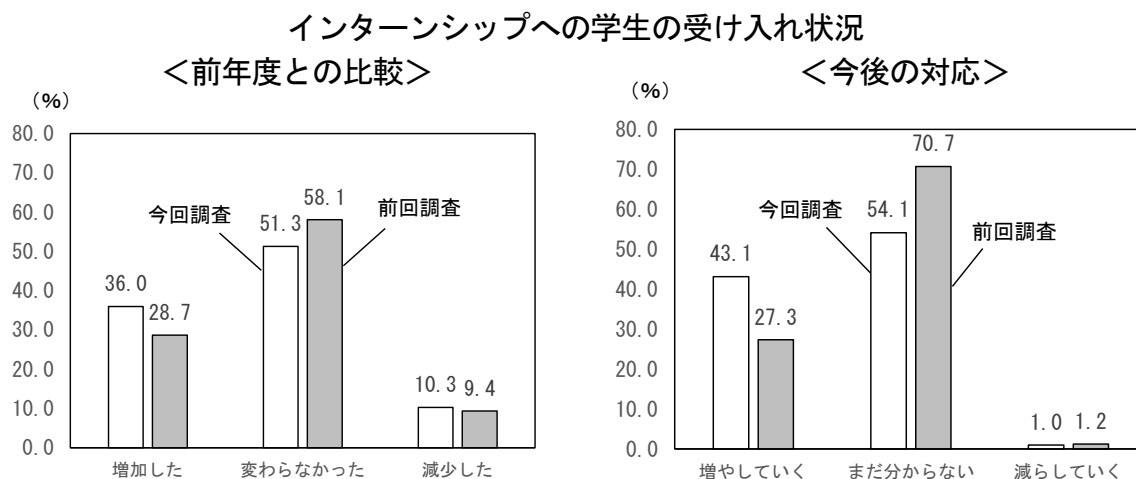
(5) 既卒者の受け付けや通年採用の実施状況

既卒者の応募受け付けについて、72.0%が「既に実施している」または「今後は実施する予定である」と回答した。このうち、84.0%が新卒採用と同様の扱いで受け付けている。受け付けの条件について、条件を設けている企業のうち74.5%が「卒業後3年以内であること」と回答し、最も多かった。

また、新卒者に対する通年採用の実施について、46.5%が「実施している」または「今後は実施する予定である」と回答した。

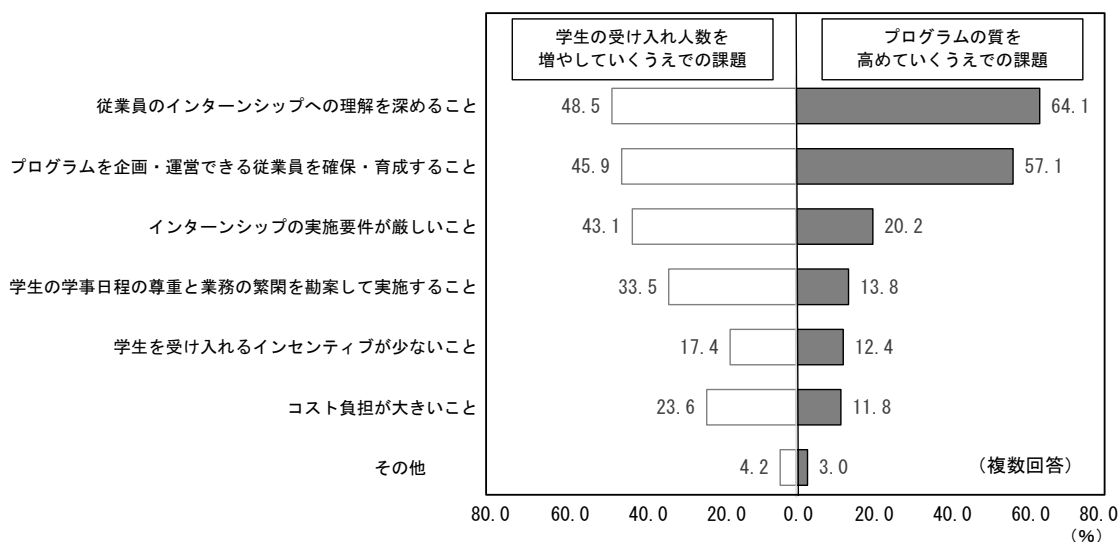
(6) インターンシップの実施状況と課題

インターンシップの実施状況について、75.9%が「既に実施している」または「今後は実施する予定である」と回答した。2013年度の学生の受け入れ人数については、前年度と比べて「増加した」と回答した企業は7.3ポイント増加して、36.0%となった。また、「今後、受け入れ人数を増やしていく」とする回答も、前回調査と比べて15.8ポイント増加し、43.1%となった。



一方、インターンシップに関し、「プログラムの質を上げていくうえでの課題」と「学生の受け入れ人数を増やしていくうえでの課題」について聞いたところ、いずれのケースでも「受け入れ職場に在籍する従業員のインターンシップへの理解を深めること」との回答が最も多かった。

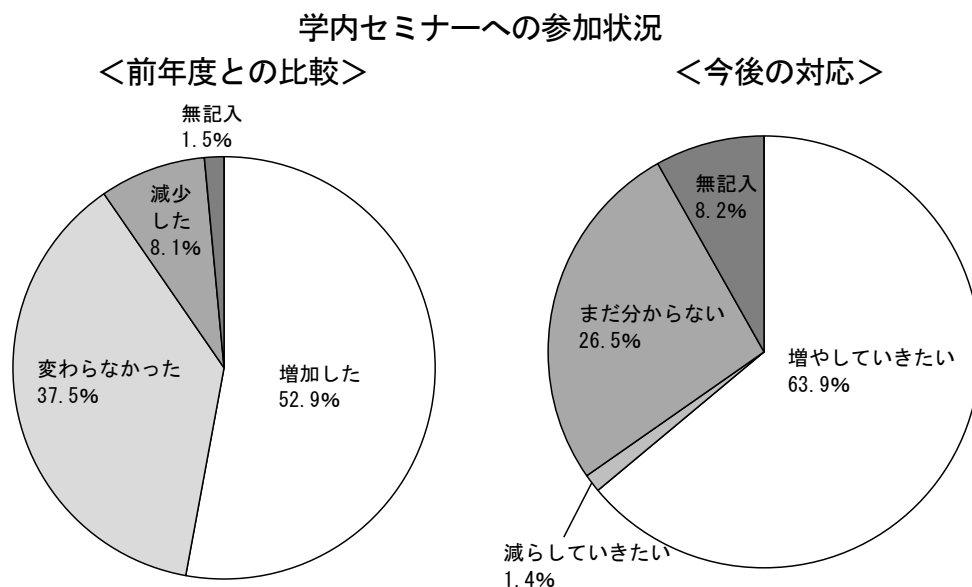
インターンシップ実施に際しての課題



(7) 大学が実施する学内セミナーへの参加状況

学内セミナーへの参加状況について、91.4%が「参加したことがある」と回答し、2013年度の参加回数について、52.9%が前年度と比べて「増加した」と回答した。

また、「今後、参加回数を増やしていきたい」とする回答企業の割合は、63.9%となった。



(8) 採用基準の明確化や採用情報の明示

採用基準の明確化について、「必要と考えている」企業は 95.8%あり、このうち69.3%が「明確化に努めている」と回答しており、前回調査と比べて 8.7 ポイント増加した。

また、採用情報の明示については、80.8%が「必要と考えており、明示に努めている」と回答しており、明示すべき採用情報として「採用予定者数」や「採用実績数」を回答した企業が多かった。

以 上